



# 環境報告書 2014

*Creation&Harmony*



**SK-Electronics CO., LTD.**

# 「自然との調和」 *Harmony*



## コンテンツ

ごあいさつ	02	社内環境活動	05
環境への取り組み	02	社会貢献活動	07
環境活動の歩み	03	環境保全活動	08
環境管理組織	03	今後の取り組み	08
環境マネジメントへの具体的取り組み	04	会社概要	08

## 編集方針

この「環境報告書」は、当社が地域社会の一員として環境保護の責任を担い、これまで取り組んでまいりました環境保全活動ならびに社会貢献活動の内容や成果をご紹介しますことで、当社の「環境」に対する考え方を皆様にご理解いただくことを目的に作成いたしました。

## ごあいさつ

エスケーエレクトロニクスは「創造と調和」を経営理念としています。「創造」とは常に積極的に新しい価値創造に励み、社会の求めるより良い製品をご提供するという意味です。

「調和」とは、社会との調和、**自然との調和**、そして人との調和を大切にした企業活動により社会的責任を果たすという意味が込められています。

この経営理念に基づき、当社の環境理念である「常に自然の恵みを大切にし、企業活動を通じて環境改善に取り組み、自然との調和を実現します。」を策定いたしました。

地球の限りある資源のもとに事業活動を行う当社は、環境負荷低減や環境保全のために、その事業の成果をもって貢献する責務があり、また環境問題への取り組みは企業価値向上につながる重要な企業活動の一つであると考えています。

今後は、社会の求めるより良い製品をご提供するとともに、地球環境保全や環境負荷低減に貢献し、環境理念である「自然との調和」の実現を目指してまいります。



代表取締役社長

## 環境への取り組み

当社では、環境経営を実践していくうえで重要なシステムとなる環境マネジメントシステム(ISO14001)を、2002年に京都工場で認証取得し、2011年には滋賀工場で拡張認証を行いました。

また、環境理念に基づく5つの環境方針を策定し、掲げた環境目標を達成するために環境管理体制を整備して、社員一人ひとりの環境意識向上に取り組んでまいりました。

地域社会とのコミュニケーションも重要な取り組み課題の一つと考え、事業所周辺の身近な地域社会における環境保全活動ならびに社会貢献活動を地域の方々とともに進めております。

今後は、後ほどご紹介申し上げます社会貢献活動や環境保全活動の継続ならびに充実を図り、当社が果たすべき社会的責務に積極的に取り組んでまいります。

### 経営理念

#### 「創造と調和」

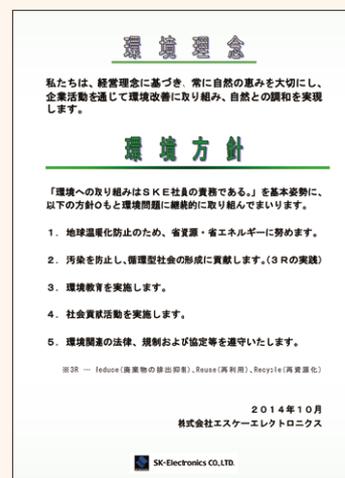
### 環境理念

常に自然の恵みを大切にし、企業活動を通じて環境改善に取り組み、自然との調和を実現します。

### 環境方針

1. 地球温暖化防止のため、省資源・省エネルギーに努めます。
2. 汚染を防止し、循環型社会の形成に貢献します。(3Rの実践)
3. 環境教育を実施します。
4. 社会貢献活動を実施します。
5. 環境関連の法律、規制および協定等を遵守します。

※3R・・・Reduce(廃棄物の排出抑制)、Reuse(再利用)、Recycle(再資源化)



## 環境活動の歩み

2001年	10月	株式会社写真化学より分社し、株式会社エスケーエレクトロニクス設立
2002年	9月	京都工場でISO14001認証取得
2005年	5月	本社、京都工場での周辺地域清掃活動スタート
2006年	8月	本社前の戻橋児童公園へベンチ5脚寄贈 京都市より感謝状授与(2006年9月)
2007年	11月	社会福祉法人への支援活動を開始(京都工場)
2008年	6月	京都工場の所在地である久御山町内の幼稚園に「緑のカーテン」を設置
	8月	京都市、NPO法人、企業のハイブリッド組織で「水源の森づくり」活動に参画
	10月	「水源の森づくり」京北町の合併記念の森にて北山杉の第1回間伐作業に参加
2009年	3月	「水源の森づくり」第2回間伐作業に参加
	5月～10月	京都工場の近隣2カ所の幼稚園に「緑のカーテン」を新たに設置
	7月	京都工場地域環境活動として、「木津川下津屋橋(通称:流れ橋)付近地域清掃」を実施
	11月	本社地域環境活動として、「堀川周辺地域清掃」を実施 発展途上国の子どもたちにワクチンを贈るため、ペットボトルキャップの収集を開始 滋賀工場の敷地の一角に農園を設け、野菜の栽培を開始
2010年	2月	関西盲導犬協会への支援活動を開始
	3月	「水源の森づくり」植樹作業に参加
	5月～10月	京都工場の近隣3ヶ所の幼稚園に「緑のカーテン」を設置
	10月	滋賀工場にて「ひのきが丘企業会」主催の「環境美化の日」清掃活動へ参加
	11月	「水源の森づくり」京都市右京区鳴滝音戸山にて竹林清掃活動に参加
2011年	5月～10月	京都工場近隣の3ヶ所の幼稚園へ「緑のカーテン」を設置
	9月	滋賀工場でISO14001拡張認証取得
2012年	3月	「合併記念の森 記念式典」と「森づくりパートナーによる植樹」に参加
	5月～9月	京都工場近隣の3ヶ所の幼稚園へ「緑のカーテン」を設置
2013年	11月	滋賀工場にて「ひのきが丘企業会」主催の「環境美化の日」清掃活動へ参加
	12月	第5回本社地域環境活動として、「堀川周辺地域清掃」を実施
2014年	5月	第6回京都工場地域環境活動として、「近鉄大久保駅周辺地域清掃」を実施
	5月～9月	本社近隣の幼稚園に「緑のカーテン」を設置

## 環境管理組織

- 当社では、社長を最高責任者として環境保全活動に取り組んでおります。
- 社長の命をうけた環境管理担当役員のもと、環境委員会を設置しています。
- 環境委員会で企画、検討を行った取り組みについて、スムーズに実施するために環境委員会は各職場代表で構成しています。
- 社員は環境委員会のもと、環境保全活動に取り組めます。

### 環境管理組織図



## 環境マネジメントへの具体的取り組み

### 環境目標

#### 環境3カ年計画の実績

##### 第1期 (2002年9月期～2004年9月期)

第1期は、CO<sub>2</sub>削減と廃棄物削減に取り組みました。CO<sub>2</sub>削減(売上原単位※)は、2001年9月期の実績値から20%削減の目標としましたが、2004年9月期には、23%の削減を達成しました。

廃棄物削減については、2001年9月期から40%削減の目標としましたが、3年間で51%の削減をすることができました。

※売上原単位…エネルギーの使用量/売上高

##### 第2期 (2005年9月期～2007年9月期)

第2期の計画は、引き続きCO<sub>2</sub>および廃棄物削減に取り組むと共に、水、電力、燃料、排ガス消費の削減を目指しました。

CO<sub>2</sub>削減の結果は、2004年9月期の実績に対して15%削減の計画でしたが、新工場建設による設備増加のため、残念ながら2007年9月期には7%増になりました。

しかし廃棄物削減は、2004年9月期から30%削減の目標に対して2007年9月期には90%削減を達成し、大幅な削減となりました。

##### 第3期 (2008年9月期～2010年9月期)

第3期は4つの目標を立てました。まず、グリーン購入率は目標の95%を目前にして達成することができませんでしたが、今後は維持管理を行い購入率の推移に変動がないよう取り組んでいきます。事務用品購入量は、15%削減の目標に対して大きく上回る数字で目標を達成しました。コピー用紙購入量の削減は目標を達成できなかったため、次の3カ年計画では再度目標に掲げて削減を推進することといたしました。故紙・ダンボール排出量は、目標に対してわずかにオーバーしましたが、今後は維持管理を行い排出量が増加しないよう取り組むことといたしました。

##### 第4期 (2011年9月期～2013年9月期)

第4期は具体的施策による残業時間の削減、電子決裁導入などによるコピー用紙の削減、エネルギー使用量削減(原油換算)の3つの目標を掲げました。残業時間の削減については、毎年3%、3年間で9%の削減を目指し、最終的に11%の削減を達成しました。コピー用紙の削減・エネルギー使用量削減については、毎年2%、3年で6%の目標に対し、コピー用紙は電子決裁システムの導入やミスコピーの撲滅活動等により3年間通算で19%の削減、エネルギー使用量はエレベーター等省電力設備の導入や節電意識の高揚により14%の削減を達成することができました。

##### 第5期 (2014年9月期～2016年9月期)

第5期は、「改正省エネ法」に対する全社的な取り組みを重点課題として、エネルギー使用量削減(原油換算)を目標に設定しました。第4期で目標に掲げていた具体的施策による残業時間の削減、電子決裁導入などによるコピー用紙の削減については廃棄物排出と同様に維持管理項目としました。実績の詳細については、5ページに記載のとおりです。

## 環境マネジメントへの具体的取り組み

### 京都工場

#### ●エネルギー使用量削減

京都工場では、2013年9月期の実績を基準年とし、「改正省エネ法」の計画目標にリンクさせ、3ヵ年計画でエネルギー使用量の毎年1%削減(3年間でトータル3%の削減)を目標に掲げました。

目標に対する施策として、社員の節電意識の高揚を引き続き図るとともに、工場冷却水ポンプのインバーター化や蒸気配管の保温強化、一部事務所内照明のLED化等を実行し、その結果、2014年9月期の実績については、目標の1%削減に対して1.2%と、目標を達成することができました。

### 滋賀工場

#### ●エネルギー使用量削減

滋賀工場では2013年から3ヵ年計画で、エネルギー使用基準年度比毎年1%削減の目標を掲げ、今年はその初年度となりました。今年度の主な活動としては、昨年度に引き続いての活動に加えて、倉庫棟の照明を省エネタイプに変更し、温水と冷水を同時に作る熱回収装置を導入いたしました。その結果、エネルギー使用量は原油換算で18キロリットル、1.3%の削減となり、初年度の目標を達成することができました。今後も引き続き省エネ活動を進めてまいります。

## 社内環境活動

#### ●滋賀農園

滋賀工場では今年、当社の「常に自然の恵みを大切にし」の環境理念のもと、昨年活動を中止していた滋賀農園を再開しました。

敷地内の畑で育てられたカボチャ・ゴーヤ・キュウリ・ナス・トマト・落花生等の自然の恵みは食べることで、さらにジャガイモ収穫イベントでは直接手で触れることで、「自然との調和」を実感し、大切さを感じることができる活動となりました。



カボチャ



ゴーヤ



ナス・トマト



ジャガイモ収穫イベント

#### ●環境講演会

6月の『環境月間』には、毎年イベントを実施しており、今年は外部の講師をお招きし『環境講演会』を開催しました。多くの社員が各拠点それぞれの地域性を持ったテーマの講演会に参加することにより環境意識が高まりました。

**本社：「地球温暖化の現状と京都市の対応」** 地球温暖化の現状とその影響、温室効果ガス、自然エネルギー、京都市内の事業者向けに活用できる制度など、幅広くわかりやすくご解説いただきました。

**京都工場：「京都エコ・エネルギー戦略について」** 京都府で行われているエネルギー関係の問題、基本方針や再生可能エネルギーとしての太陽光パネルの推進についてなど、わかりやすくご解説いただきました。

**滋賀工場：「びわ湖の日」** びわ湖が今の位置に安定するまでの過程、人々の生活とびわ湖との密接な関わり合いを学びました。



本社にて



京都工場にて



滋賀工場にて

## ●「けいはんなe2未来まなびパーク&スクエア」見学

環境委員会の活動として、2014年9月に「けいはんなe2未来学びパーク」と「けいはんなe2未来スクエア」を訪れました。この施設では次世代エネルギーや社会システム実証プロジェクトをはじめ、けいはんな学研都市で行われている環境・エネルギー関連の取り組みが展示されています。

環境やエネルギーに関するビデオ観賞の後、職員の方による「けいはんなエコシティの次世代エネルギー・社会システム実証プロジェクト」についての説明がありました。HEMSやBEMSなど普段聞き慣れない言葉を学び、大変勉強になりました。また、エネルギー消費量シミュレーションシステムや電気自動車の模型、発電キットなど体験型のコーナーが多く、楽しみながら学ぶことができました。

この見学の模様については、環境委員会から毎月社内報で掲載しているPR記事「SKEECO」で全社員に紹介し環境意識の高揚を図りました。

※注…HEMS(住宅向けエネルギー監視システム)、BEMS(商用ビル向けエネルギー監視システム)



電気自動車に試乗



エネルギー消費量を測定



エネルギーの流れを学習

## 社会貢献活動

### ●緑のカーテン

これまで京都工場地区(京都府久世郡久御山町)で実施していました幼稚園への「緑のカーテン」設置活動を、本社地区(京都市)で初めて実施しました。

「緑のカーテン」は、体感温度の上昇を抑えることでエアコンなどの冷房機器の消費電力の削減と植物の花や実が成ることにより植物の成長を園児達に体感してもらい、身近な緑に関心をもってもらうことを主な目的としています。

今年度は京都市立待賢幼稚園に、ゴーヤ、キュウ

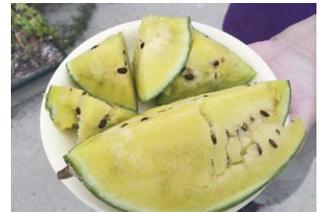
リ、千成瓢箪、スイカなどの苗を園児達にも手伝ってもらい植え付けました。当初、難しいと思われた黄色のスイカなども十分に育ち、園児達や先生方だけではなく、当社社員にもおすそわけいただくほど順調に育ちました。



立派に成長したキュウリ



園児も楽しく植え付け



スイカも収穫できました

### ●エコキャップ運動

社会貢献活動の一環として2009年12月より「エコキャップ運動」を進めています。

この運動はペットボトルのキャップを外して集め、リサイクル業者に売却し、キャップの再資源化で得た売却益をもって「発展途上国の子どもたちにBCGやポリオワクチンを贈る」ことで「再資源化」「CO<sub>2</sub>の削減」だけでなく、「社会貢献」にも寄与することを目的としています。

本社・京都工場・滋賀工場の3拠点へ回収ボックスを設置した結果、2013年10月から2014年9月までに集まったエコキャップは**13,716個**でした。これにより**8人分のポリオワクチン購入**が可能となり**108.02kgのCO<sub>2</sub>**が削減できました。

今後も引き続き社会貢献の一環として「エコキャップ運動」に取り組んでいきます。



#### エコキャップがワクチンになるまでの流れ



回収



リサイクルメーカー



ワクチン寄贈団体



途上国へ

## ● 第5回本社地域環境活動「堀川周辺地域清掃」

秋の穏やかな気候も終わり寒さが厳しくなった2013年11月末、前日までの不安定な天候がうそのように、清掃活動当日は見事な晴れとなりました。ここ最近の実施回では、天候に恵まれず曇りであることが多かったのですが、雲も少なく、また日差しが出てきた頃には汗を少しかくくらい気温も上がり、気持ちよく清掃活動を行うことができました。

今回の参加人数は合計37名でした。お子さんの参加人数は例年以上に多く8名もの参加があり、楽しみながら一生懸命清掃をしている様子が印象的でした。

清掃活動の結果、拾ったゴミの総量は24kg。前回の37kgよりも13kg減少しました。家電や粗大ゴミ等の比較的大きなゴミもなく、またゴミの量自体も大きく減少していました。

ゴミのポイ捨ては人の良心に訴えるところが大きく、一朝一夕で効果が出るようなことではないと思いますが、活動を継続して、街ゆく人が清掃活動の様子を見て、少しでもゴミを捨てるのを「ためらう」「やめる」などの気持ちが生まれてくれば、大きな成果だと思います。

これからも地道な活動を継続し、地域社会に貢献していきたいと思っています。



本社前での集合写真(37名)



堀川通り東側



せせらぎ街道



堀川通り西側

## ● 第6回京都工場地域環境活動「近鉄大久保駅周辺地域清掃」

環境保全活動と地域への貢献を目的に、昨年に引き続き近鉄大久保駅周辺の清掃活動を行いました。2014年5月、夏と思われる暑い日があったり、前日には夕立ちもあるなど天候が不順でしたが、清掃日当日は、くっきりとした晴れの日でした。お子さん3名を含む社員とその家族の合計31名が大久保駅に集合し、2グループに分かれて清掃活動を行いました。

清掃を始めた時は肌寒く感じていましたが、時間を追うごとに汗ばむ陽気となり、空き缶やペットボトル、吸い殻や生活ゴミなど、11kgのゴミを回収することができました。今年は、昨年に比べて1.5倍の多人数での活動となり、社員の清掃活動に対する意識も高まっています。

今後もこのような地域に密着した活動を行っていく予定です。



大久保駅から南へ



大久保駅から西へ



大久保駅バスターミナル前で記念撮影

## 環境保全活動

### ● 太陽光発電システム

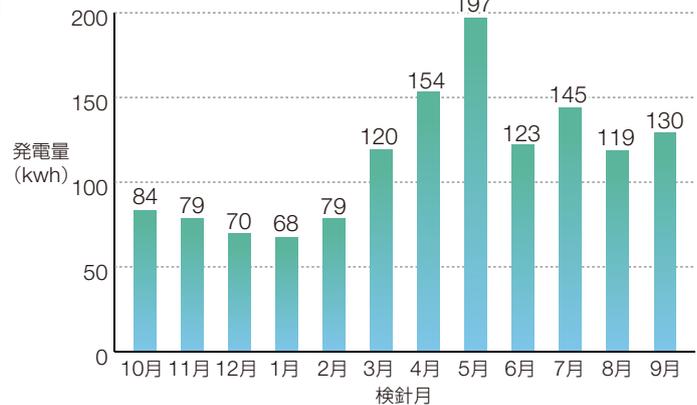
京都工場では、“クリーンエネルギー”である太陽光を利用した太陽光発電システムを導入し、環境保全に貢献しています。今期の発電量は、以下の様になっています。

今期の積算〈2013年10月～2014年9月〉

検針月	月次積算量(kwh)	総積算量(kwh)
10月	84	12,095
11月	79	12,174
12月	70	12,245
1月	68	12,313
2月	79	12,392
3月	120	12,512
4月	154	12,667
5月	197	12,864
6月	123	12,987
7月	145	13,133
8月	119	13,252
9月	130	13,383
合計	1,368	13,383

※総積算量については、2005年1月からの積算量

太陽光発電積算量(kwh) ■ 月次積算量(kwh)



## 今後の取り組み

当社は、社会が求めるより良い品質で環境に優しい製品を提供するとともに、環境負荷低減や環境保全に貢献し、環境理念である「自然との調和」を実現するために以下の取り組みを実践していきます。

### ①環境マネジメントの実践

具体的な取り組みとして、これまで実践してきた「環境教育」を今後も継続的かつ積極的に実践し、社員の更なる環境意識の向上を図ってまいります。2013年10月からは、「新・環境3カ年計画」がスタートし、新たな目標を設定して目的や効果を十分に理解しながら達成に向けて取り組んでまいります。

### ②社会貢献活動の実践

毎週定期的に行っている本社・京都工場周辺の清掃活動は10年目を迎えました。また、本社近辺での堀川周辺地域清掃や京都工場に訪れるときに利用する近鉄大久保駅周辺の地域清掃、そして滋賀工場では、所属する企業会でのテクノパーク内の清掃活動にも参画しております。全社で行なっている「エコキャップ運動」、「関西盲導犬協会への支援活動」も継続していきます。

地域社会の皆様とコミュニケーションを図りながら、新たな社会貢献活動への参加や、ご要望をいただいている取り組みに積極的にお応えしてまいります。

### ③環境保全活動の実践

「水源の森づくり」では、社員の環境教育の場として、北山杉の人工林の現状を見て、今まさに必要とされている間伐作業を行ってきました。また、その次の展開として、行政・NPO・企業が一体となった放置竹林の間伐作業にも参画してまいりました。地球温暖化防止につながる取り組みについては、今後も積極的に参加し、環境理念の実現に取り組んでまいります。

## 会社概要

社名	株式会社 エスケーエレクトロニクス	SK-Electronics CO., LTD.
設立	2001年10月1日	
本社住所	〒602-0955 京都市上京区東堀川通り一条上ル豊富田町436番地の2	
事業内容	大型フォトマスク製造販売	
資本金	4,109,722 千円	
従業員数	278名(2014年9月30日現在)	



株式会社 **エスケーエレクトロニクス**  
[www.sk-el.co.jp](http://www.sk-el.co.jp)

本 社 / 〒602-0955 京都市上京区東堀川通り一条上ル暨富田町436番地の2  
TEL.(075)441-2333(代) FAX.(075)441-4291

東 京 営 業 所 / 〒105-0004 東京都港区新橋5丁目19番15号 アド・タイヘイビル6階  
TEL.(03)5425-6061(代) FAX.(03)5425-6062

京 都 工 場 / 〒613-0035 京都府久世郡久御山町下津屋富ノ城62番地1  
TEL.(0774)44-2921(代) FAX.(0774)48-2163

滋 賀 工 場 / 〒528-0068 滋賀県甲賀市水口町ひのきが丘38番  
TEL.(0748)65-1390(代) FAX.(0748)65-1391